MD100Manager

ユーザーマニュアル　User Manual

3.0.1

2020年4月

01400202

目　次

1　はじめに 3
2　インストール／アンインストール方法 4
2.1　インストール 4
(1)　インストーラを起動する 4
(2)　インストールを実施する 7
2.2　アンインストール 9
3　起動／終了方法 12
3.1　起動 12
3.2　終了 13
4　画面説明 14
4.1　画面 14
4.2　メニュー 16
4.2.1　【ファイル】メニュー 16
(1)　メニュー項目 16
(2)　メニュー操作 17
4.2.2　【ヘルプ】メニュー 20
(1)　メニュー項目 20
(2)　メニュー操作 21
4.3　タスクトレイアイコンの操作 24
(1)　メニュー項目 24
(2)　メニュー操作 25
4.4　環境設定画面 27
5　PC への接続／接続解除方法 28
5.1　PC に接続する 28
5.2　PC から接続解除する 30
6　各種操作 31
6.1　本体に保存している読み取りデータをパソコンに出力する 31
6.2　本体の設定を行う（1） 34
6.3　本体の設定を行う（2） 40
6.3.1　読み取りモード時 40
6.3.2　照合モード時 42
6.4　本体に照合 DB を作成する 45
6.4.1　照合 DB 作成元ファイル 45
(1)　ファイル形式 45
(2)　長さ制限 45
6.4.2　照合 DB を作成する 46
6.5　本体にある照合 DB の内容を確認する 51

1　はじめに

データコレクタを MD100Manager に接続することで、次のことを行うことができます。

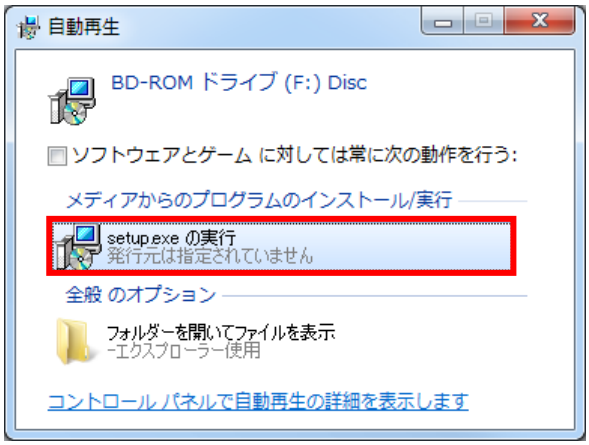
① データコレクタに保存しているデータをパソコンに出力する
② データコレクタの設定内容（スキャナ設定等）を変更する
③ データコレクタに照合 DB を作成（新規または追記）する
④ データコレクタに格納している照合 DB の内容を確認する
⑤ データコレクタに格納している照合 DB の内容をパソコンに出力する

2　インストール／アンインストール方法

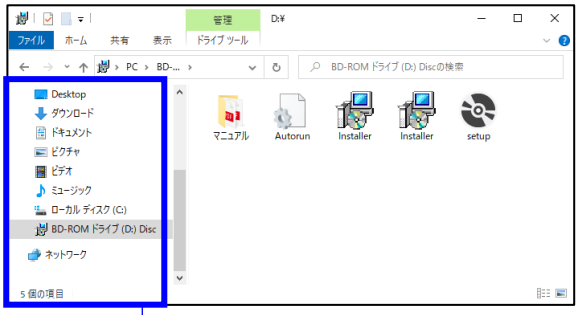
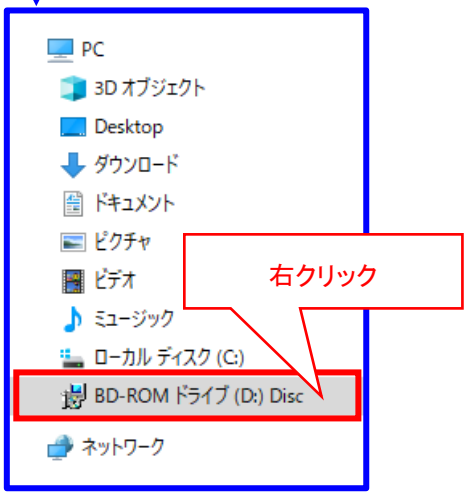
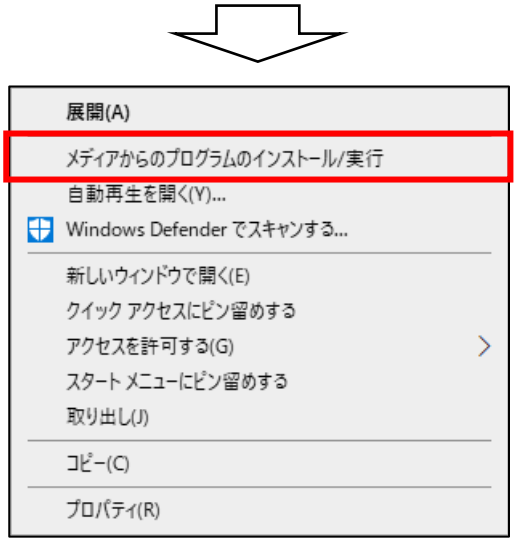
2.1　インストール

(1)　インストーラを起動する

MD100Manager のインストーラを起動するには、次の操作を行ってください

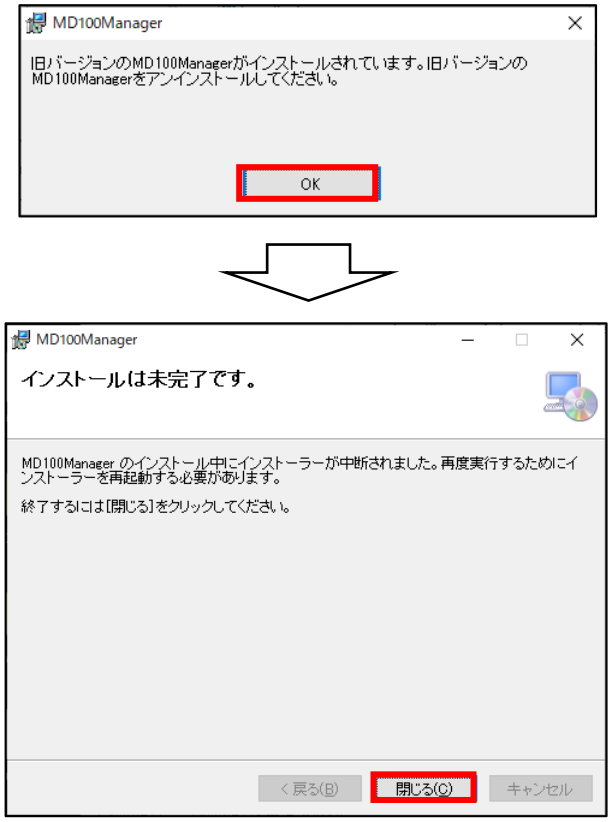
項番	説明	操作イメージ
1.	付属の CD を光学ドライブに挿入します ※自動でインストーラが起動されたときは、以降の操作は必要ありません ※「(2) インストールを実施する」に進んでください	
2.	<u>a) 自動再生のダイアログが表示されたとき</u> 自動再生のダイアログが表示されたときは「setup.exe の実行を」クリックするとインストーラが起動します ※表示されるドライブは環境により異なります	

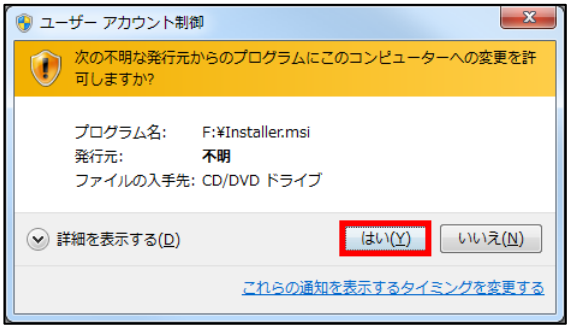
項番	説明	操作イメージ
3.	**b）操作方法メッセージが表示されたとき** 挿入したディスクに対する操作方法を選択するメッセージが画面右下に表示されたときは、このメッセージをクリックしてください ※操作方法を選択するメッセージは数秒すると自動で消えてしまします その場合は「c）**上記以外の場合**」の操作を行ってください ディスクに対する操作方法メッセージをクリックすると操作選択の画面が表示されます 「setup.exe の実行を」クリックするとインストーラが起動します ※表示されるドライブは環境により異なります	

項番	説明	操作イメージ
4.	**c）上記以外の場合** ＋ キーを押して、 エクスプローラーを起動します CD を挿入したドライブ上で右クリックしコンテキストメニューを表示します ※CD を挿入したドライブは環境により異なります 表示されたコンテキストメニューにある「メディアからのプログラムのインストール／実行」をクリックするとインストーラが起動します	  

(2)　インストールを実施する

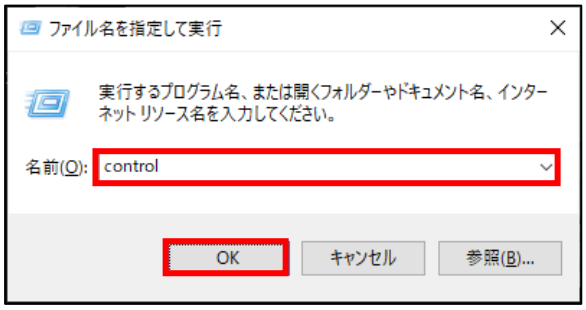
MD100Manager インストールを開始するには、次の方法でインストール画面を表示しインストールを開始してください。

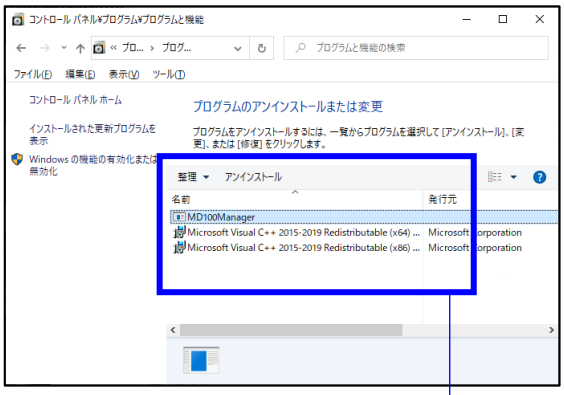
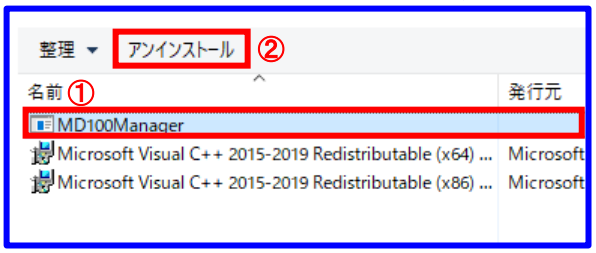
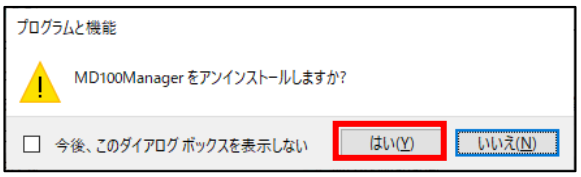
項番	説明	操作イメージ
1.	インストーラ起動時、旧バージョンの MD100Manager がインストールされていると、旧バージョンのアンインストールを促す画面を表示します 画面を閉じ、旧バージョンのアンインストールを行ってください ※アンインストールの方法については「2.2　アンインストール」を参照してください	
2.	旧バージョンの MD100Manager がインストールされていなければ、インストール開始画面を表示します 表示されるメッセージに従いインストールを行うことでインストールは完了します	

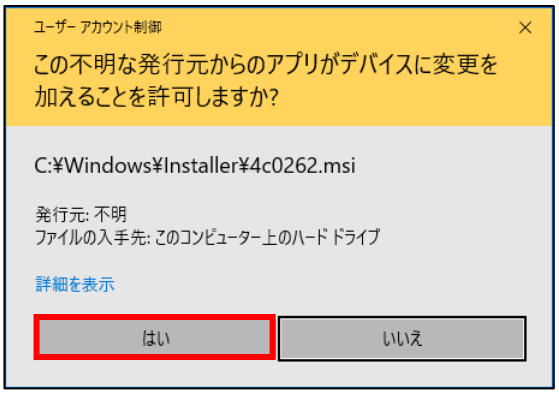
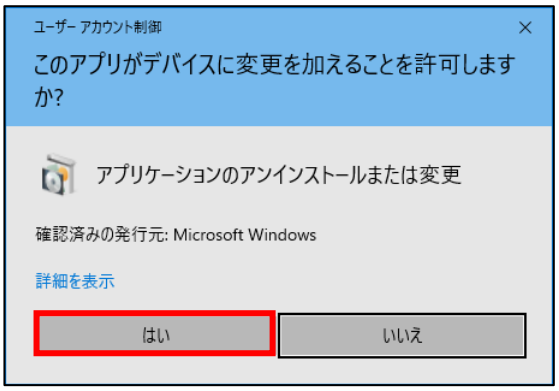
項番	説明	操作イメージ
3.	ユーザアカウント制御の画面が表示されたときは、【はい】ボタンを押してインストールを継続してください	 あるいは、 

2.2　アンインストール

インストール済みの MD100Manager をアンインストールしたいときは、次の操作を行ってください

項番	説明	操作イメージ
1.	＋ R キーを押して、 ファイル名を指定して実行ダイアログを表示します 名前欄に「control」と入力し【OK】ボタンを押し、コントロールパネルを表示します	
2.	① 表示されたコントロールパネルで、表示形式を「**カテゴリ**」にします ② 「**プログラムのアンインストール**」をクリックします	

項番	説明	操作イメージ
3.	プログラムと機能ダイアログを表示します ① 名前欄から「MD100Manager」を選択します ② 「**アンインストール**」をクリックします 表示されるメッセージに従いアンインストールを行うことでアンインストールは完了します	 
4.	アンインストール確認ダイアログが表示されたときは【はい】ボタンを押してアンインストールを継続してください	

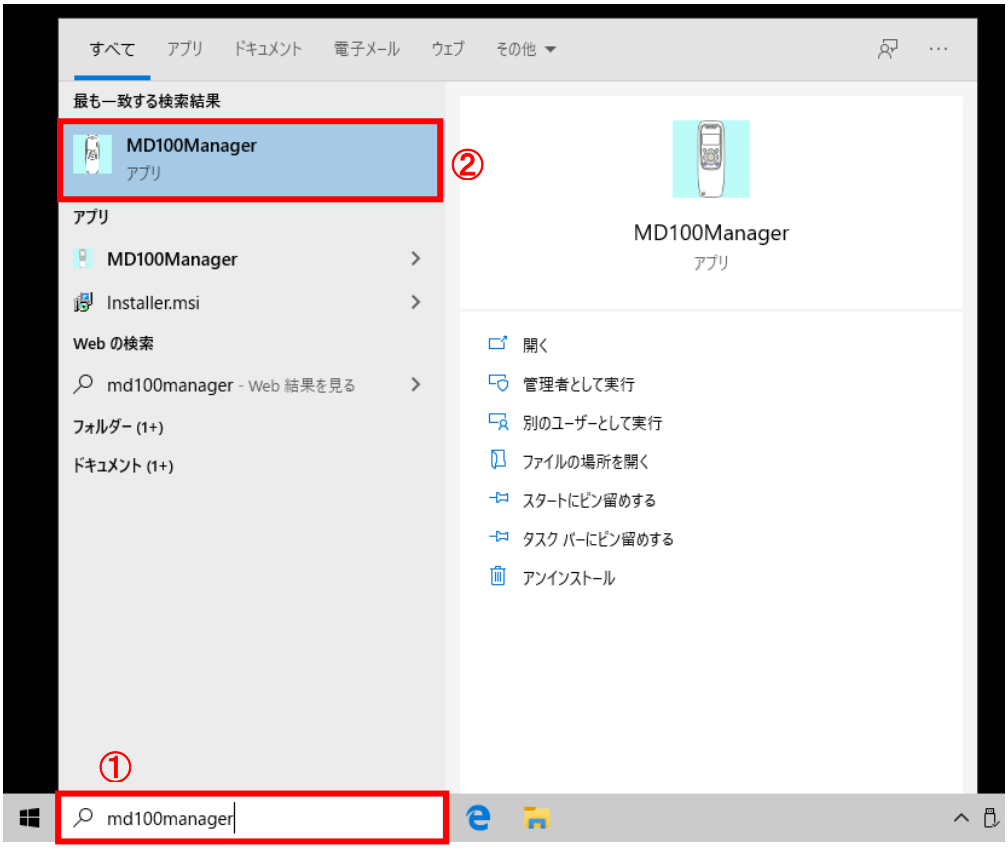
項番	説明	操作イメージ
5.	ユーザアカウント制御の画面が表示されたときは、【はい】ボタンを押してアンインストールを継続してください	 あるいは、 

3　起動／終了方法

3.1　起動

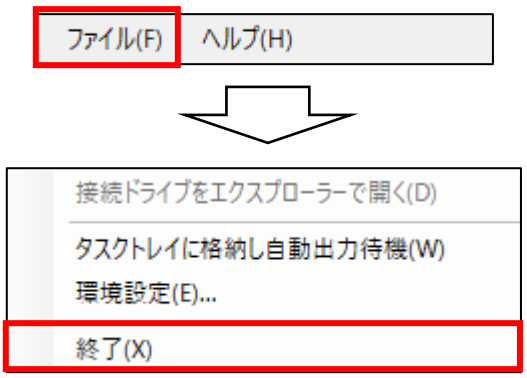
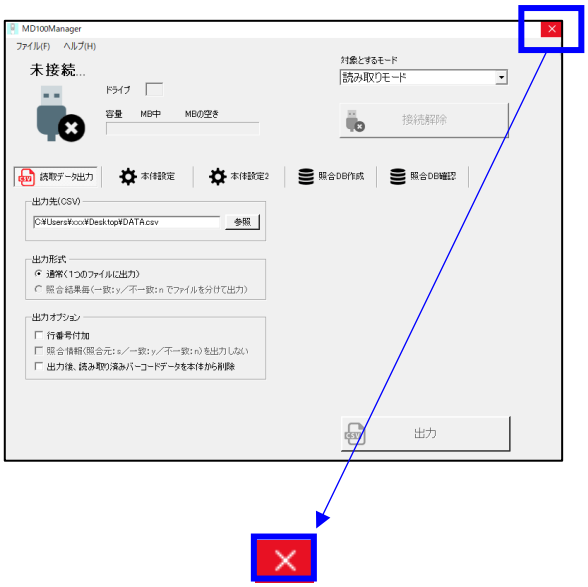
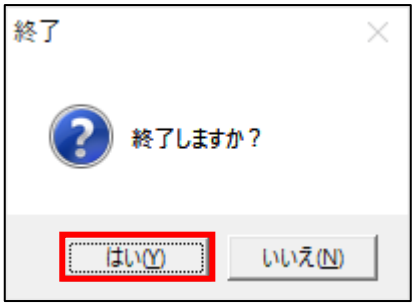
デスクトップにある MD100Manager のショートカットをダブルクリックすることで起動することができます。

あるいは、検索ボックスに「md100manager」と入力し、検索結果に表示された「MD100Manager」をクリックしても起動することができます。



3.2　終了

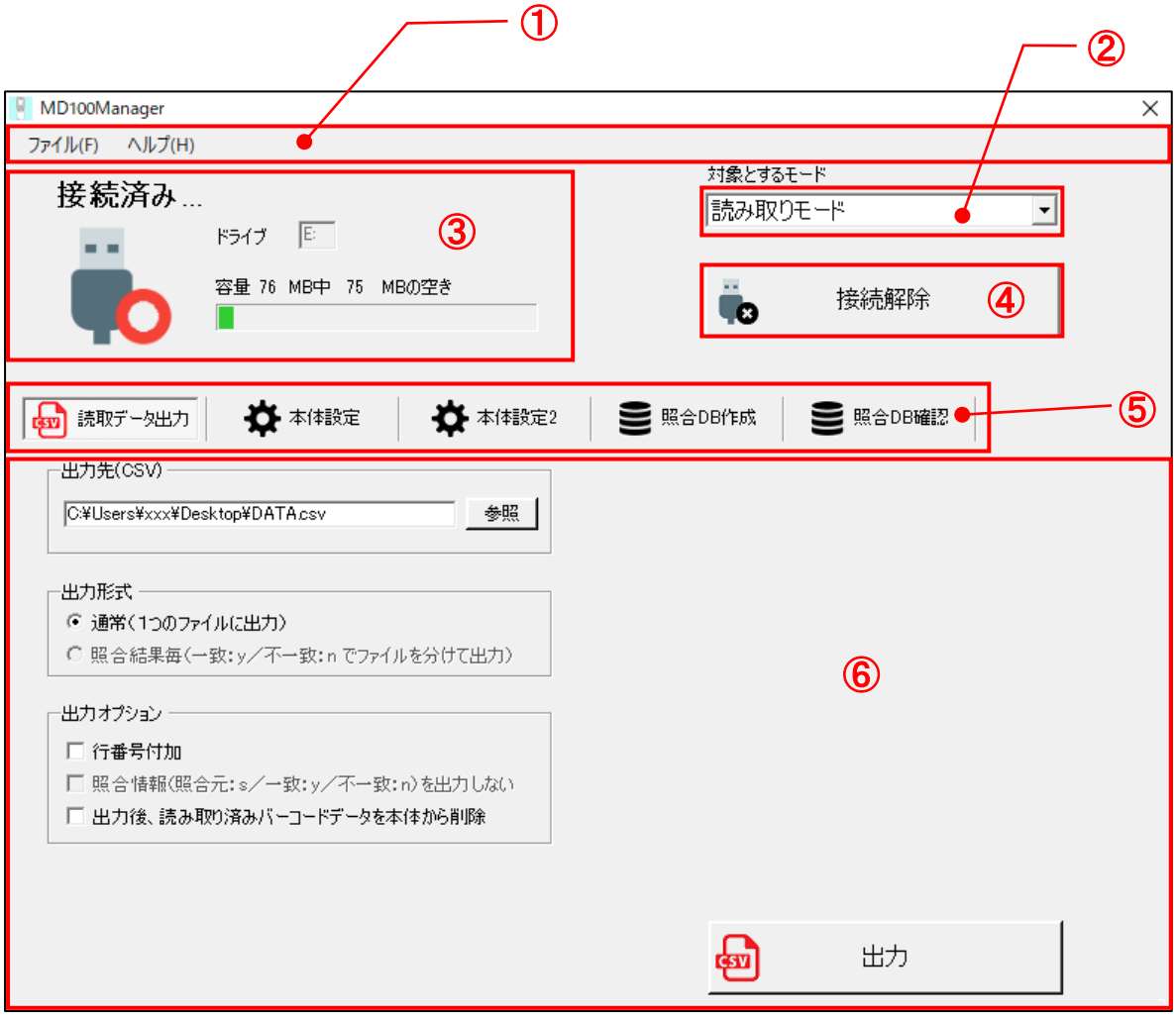
【ファイル】メニューから【終了】をクリックするか、タイトルバー右端にある【閉じる】ボタンをクリックすることで MD100Manager を終了することができます。

項番	説明	操作イメージ
1.	<u>a)【ファイル】メニューから終了する</u> 【ファイル】メニューから【終了】をクリックします	
2.	<u>b)【閉じる】ボタンから終了する</u> タイトルバーにある【閉じる】ボタンを押します	
3.	表示した終了確認ダイアログで【はい】ボタンを押すと MD100Manager が終了します	

4　画面説明

4.1　画面

画面各部について次に説明します。



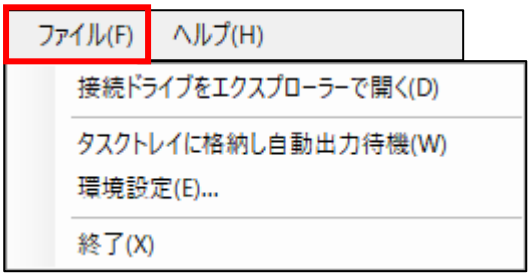
項番	各部名称	説明
①	メニュー	各種メニューに設定された項目を選択し実行することができます ※詳細については「4.2 メニュー」を参照してください
②	モード選択リスト	読み取りモードか照合モードの選択を行います ここで選択したモードは、【読取データ出力】タブ、あるいは【本体設定 2】タブに影響を与えます 上記タブの「⑥ 機能毎内容」には、選択したモードに関する内容を表示するようになります
③	本体接続情報	本体接続情報（接続状態／接続ドライブ／使用サイズ）を表示します また接続状態により、USB アイコンが変化します 接続済み　 未接続
④	本体接続解除ボタン	接続中本体の接続を解除します
⑤	機能毎タブ	各タブを押すと、それぞれの機能の内容を「⑥ 機能毎内容」欄に表示します それぞれのタブには次の機能があります (1) 読取データ出力 本体に保存しているデータを PC に出力します (2) 本体設定 日付付加、ビープ音設定等を設定することができます ここで設定した内容は本体の接続解除後、本体に反映します (3) 本体設定 2 「②モード選択リスト」で選択した、読み取りモードあるいは照合モード専用の設定を行うことができます ここで設定した内容は本体の接続を解除後、本体に反映します (4) 照合 DB 作成 CSV ファイルから照合 DB を作成し本体に格納します (5) 照合 DB 確認 本体に格納している照合 DB の内容を確認することができます また、確認した照合 DB の内容を PC に出力することができます
⑥	機能毎内容	選択した機能毎タブに関連する内容を表示します

4.2　メニュー

4.2.1　【ファイル】メニュー

(1)　メニュー項目

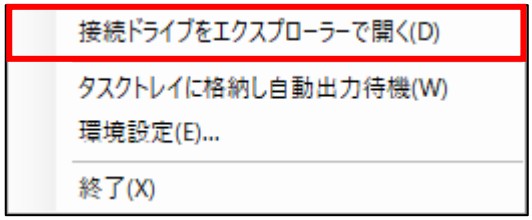
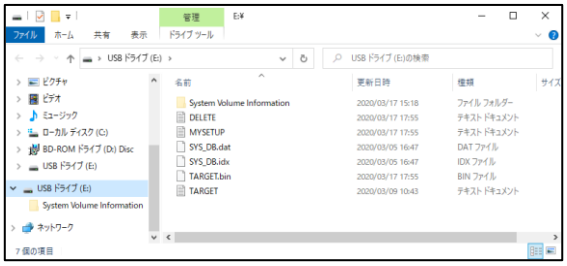
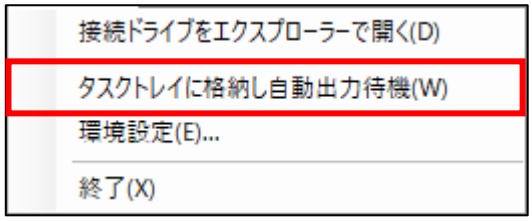
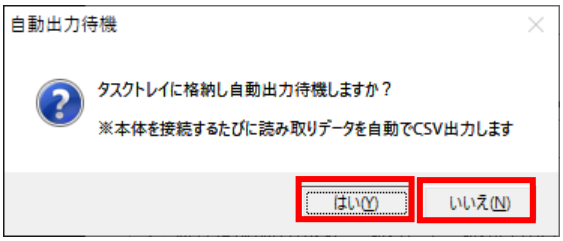
【ファイル】メニューの各項目について次に説明します。

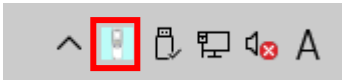
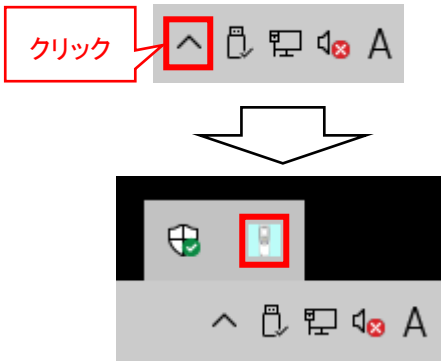
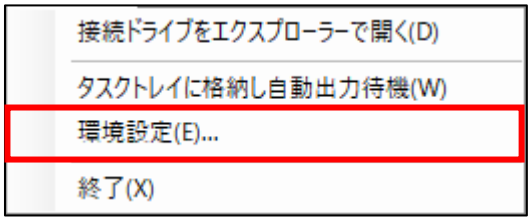
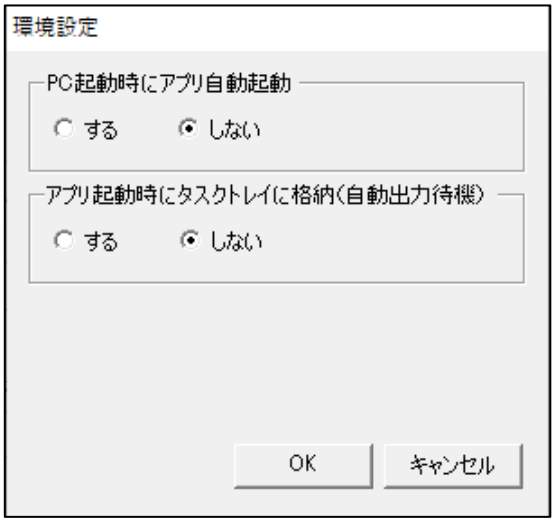


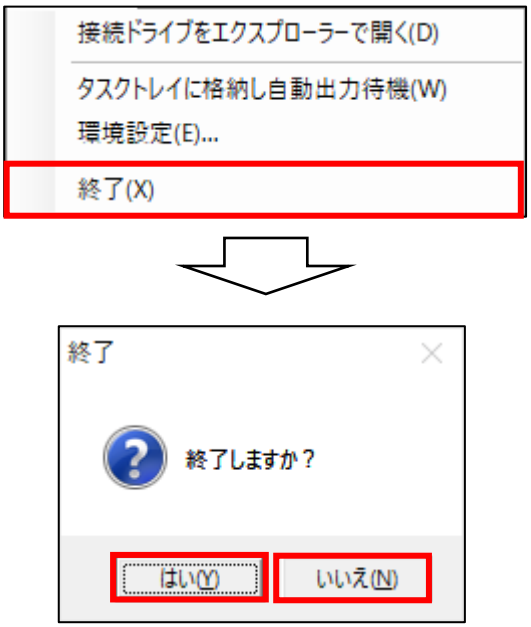
項番	名称	機能
1.	接続ドライブをエクスプローラーで開く	現在接続している本体のドライブをエクスプローラーで開きます ※本体を接続した状態でなければ、本項目を選択することはできません
2.	タスクトレイに格納し自動出力待機	MD100Manager をタスクトレイに格納します 格納した MD100Manager は、本体が接続されると自動で読み取りデータの出力を行います
3.	環境設定	次の設定を行うことができます (1) **PC 起動時にアプリ自動起動** PC 起動時に MD100Manager を自動で起動します (2) **アプリ起動時にタスクトレイに格納** MD100Manager をタスクトレイに格納した状態で起動します ※詳細は「4.4　環境設定画面」を参照してください
4.	終了	MD100Manager を終了します

(2)　メニュー操作

【ファイル】メニューの操作方法について次に説明します。

項番	説明	操作イメージ
1.	<u>a）接続ドライブをエクスプローラーで開く</u> 「接続ドライブをエクスプローラーで開く」を選択すると、現在接続している本体のドライブをエクスプローラーで開くことができます ※本体を接続した状態でなければ、本項目を選択することはできません	 
2.	<u>b）タスクトレイに格納し自動出力待機</u> 「タスクトレイに格納し自動出力待機」を選択します	
3.	自動出力待機確認画面を表示します 【はい】ボタンを押すとタスクトレイにMD100Managerを格納します 【いいえ】ボタンを押すとタスクトレイ格納を中止します	

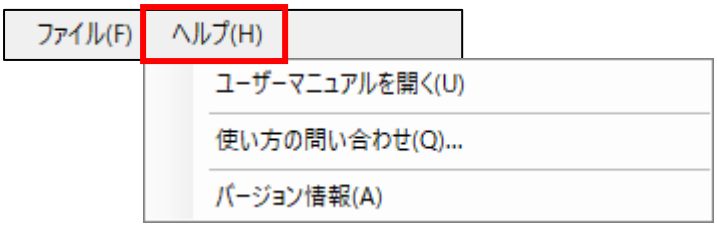
項番	説明	操作イメージ
4.	格納が完了するとタスクトレイに MD100Manager のアイコンを表示します 表示されないときはタスクトレイ左側にあるインディケーターの【∧】ボタンをクリックすると、隠れていた MD100Manager アイコンを表示します	 
5.	<u>c) 環境設定</u> 「環境設定」を選択します 環境設定画面を開きます	  ※詳細は「<u>4.4 環境設定画面</u>」を参照してください

項番	説明	操作イメージ
6.	<u>d) 終了</u> 「終了」を選択します 終了確認画面を表示します 【はい】ボタンを押すと MD100Manager を終了します 【いいえ】ボタンを押すと終了処理を中止します	

4.2.2　【ヘルプ】メニュー

(1)　メニュー項目

【ヘルプ】メニューの各項目について次に説明します。

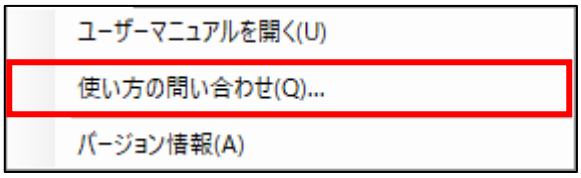
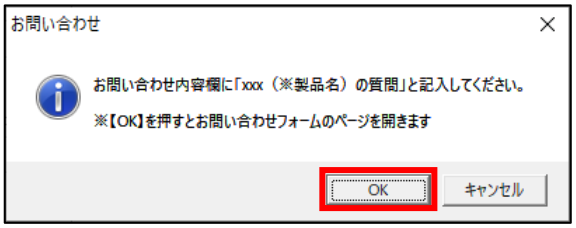
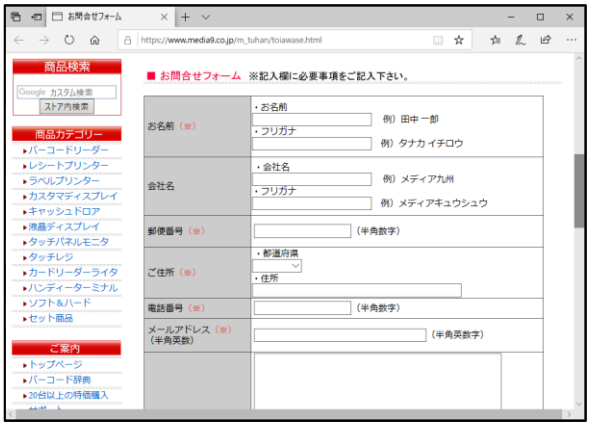


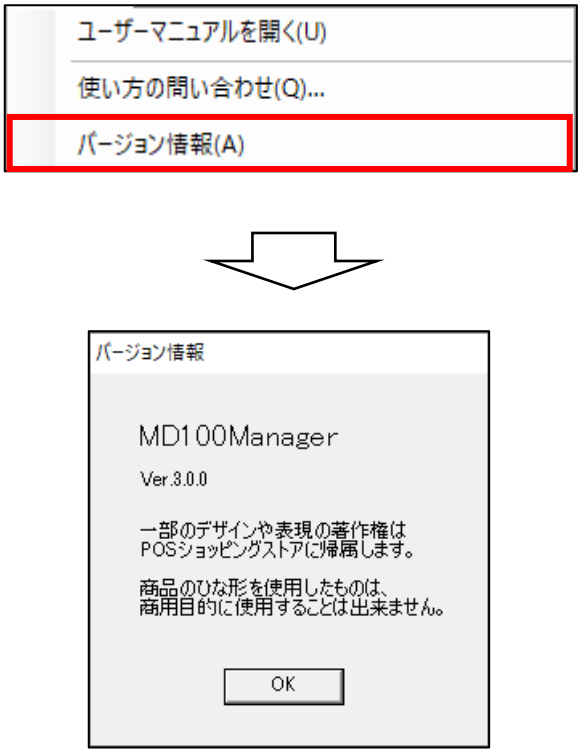
項番	名称	機能
1.	ユーザーマニュアルを開く	MD100Manager のユーザーマニュアル（PDF）を開きます ※PDF に関連付けられているアプリで開きます
2.	使い方の問い合わせ	Web ブラウザを使用し弊社のお問合せフォームがあるページを開きます ※弊社ホームページを表示可能な環境が必要です
3.	バージョン情報	MD100Manager のバージョン情報画面を表示します

(2)　メニュー操作

【ヘルプ】メニューの操作方法について次に説明します。

項番	説明	操作イメージ
1.	<u>a）ユーザーマニュアルを開く</u> 「ユーザーマニュアルを開く」を選択します MD100Manager のユーザーマニュアル（PDF）が、PDF に関連付けられたアプリで開きます	

項番	説明	操作イメージ
2.	<u>b）使い方の問い合わせ</u> 「使い方の問い合わせ」を選択します 弊社のお問合せフォームがあるページを開くかを確認する画面を表示します 【OK】ボタンを押すとWebブラウザを使用し弊社の「お問合せフォーム」があるページを表示します ※弊社ホームページを表示可能な環境が必要です 【キャンセル】ボタンを押すと問い合わせ操作を中止します	  

項番	説明	操作イメージ
3.	<u>c) バージョン情報</u> 「バージョン情報」を選択します MD100Manager のバージョン情報を表示します	

4.3　タスクトレイアイコンの操作

タスクトレイに格納した MD100Manager のアイコンを右クリックすると、操作可能項目の一覧をコンテキストメニューで表示します

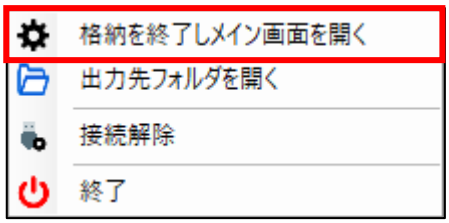
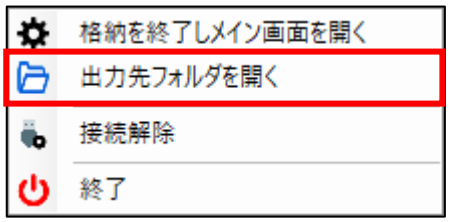
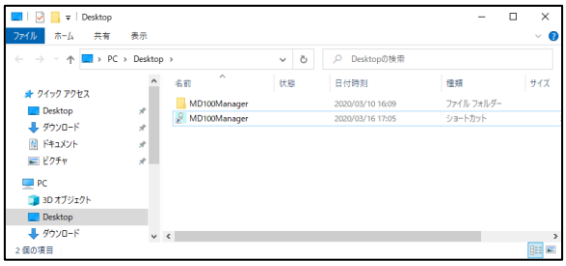
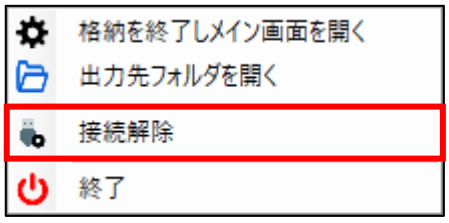
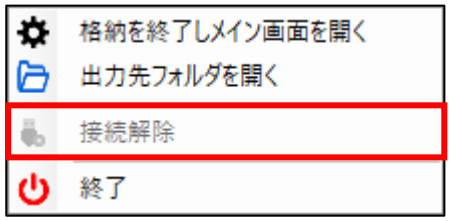
(1)　メニュー項目

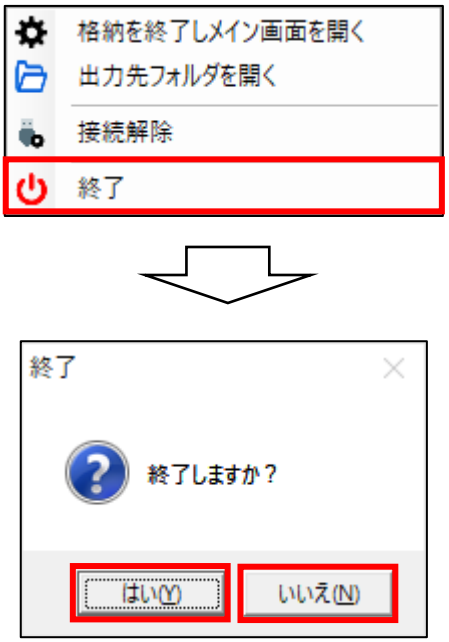
コンテキストメニューの各項目について次に説明します。

項番	名称	機能
1.	格納を終了しメイン画面を開く	タスクトレイ格納を終了し MD100Manager のメイン画面を表示します
2.	出力先フォルダを開く	読み取りデータ出力先として指定しているフォルダをエクスプローラーで開きます
3.	接続解除	PC に USB 接続している本体の接続を解除します
4.	終了	MD100Manager を終了します

(2)　メニュー操作

コンテキストメニューの操作方法について次に説明します。

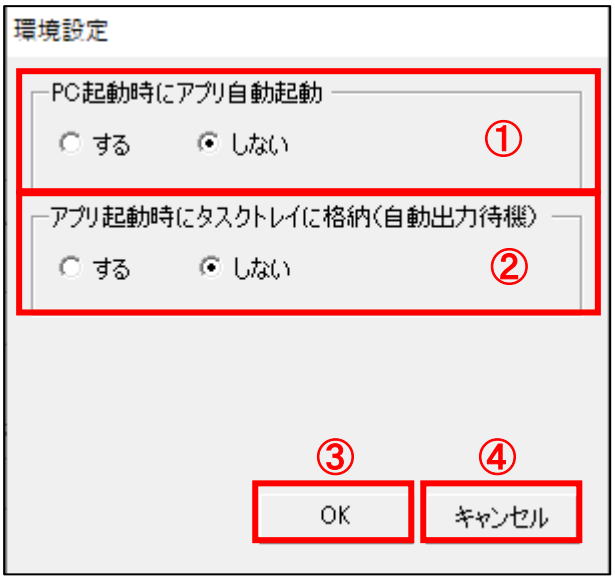
項番	説明	操作イメージ
1.	**a）格納を終了しメイン画面を開く** 「格納を終了しメイン画面を開く」を選択すると、タスクトレイ格納を終了し MD100Manager のメイン画面を開きます	
2.	**b）出力先フォルダを開く** 「出力先フォルダを開く」を選択すると、読み取りデータ出力先フォルダとして指定しているフォルダをエクスプローラーで開きます	 
3.	**c）接続解除** 「接続解除」を選択します ※接続状態でなければ本メニュー項目は選択できません ※接続解除を行うと本メニュー項目は選択できなくなります	 

項番	説明	操作イメージ
4.	<u>d) 終了</u> 「終了」を選択します 終了確認画面を表示します 【はい】ボタンを押すと MD100Manager を終了します 【いいえ】ボタンを押すと終了処理を中止します	

4.4　環境設定画面

【ファイル】メニューから【環境設定】を選択すると、次の環境設定画面を表示します。

画面各部について次に説明します。

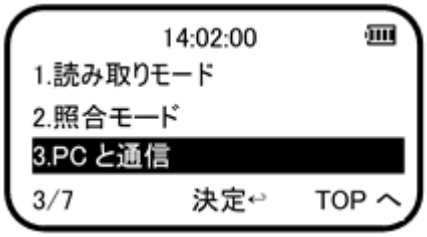
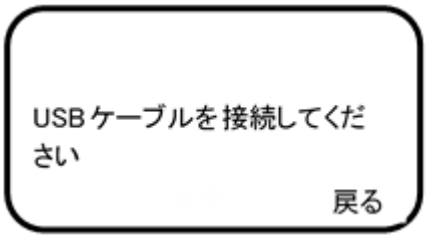
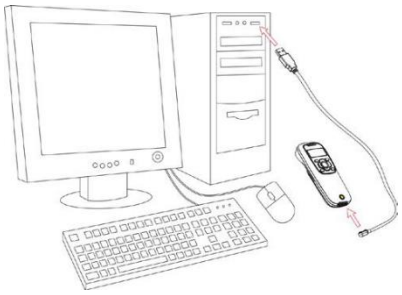


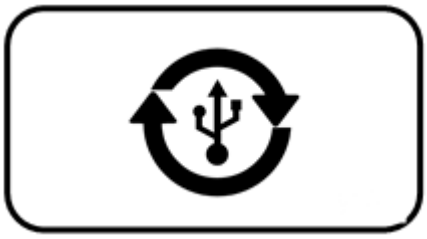
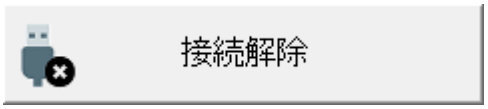
項番	各部名称	説明
①	PC 起動時にアプリ自動起動	PC 起動時に MD100Manager を自動起動するかを指定します する:　自動起動します しない:　自動起動しません ※指定した内容は次回 PC 起動時から有効になります
②	アプリ起動時にタスクトレイに格納	タスクトレイに格納した状態で MD100Manager を起動するかを指定します する:　タスクトレイに格納する しない:　タスクトレイに格納しない ※指定した内容は次回 MD100Manager 起動時から有効になります
③	OK	①および②で指定した内容を MD100Manager に設定します
④	キャンセル	環境設定処理を中止します

5　PC への接続／接続解除方法

5.1　PC に接続する

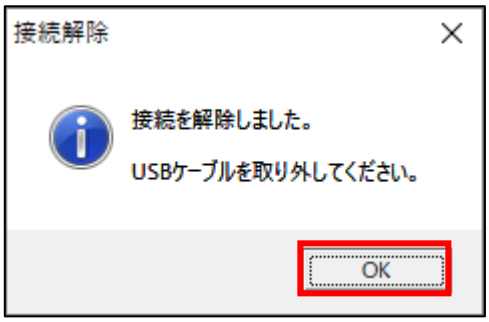
PC（MD100Manager）に本体を接続するには、次の操作を行います。

項番	説明	操作イメージ
1.	MD100Manager を起動します ※起動方法については「3.1 起動」を参照してください	
2.	本体の電源を入れ、メインメニューで「3.PC と通信」選択後【SCAN】（決定）キーを押します	
3.	USB ケーブル接続待ち画面を表示します 【右上】（戻る）キーあるいは【リターン】キーを押すとメインメニューに戻ります	
4.	接続待ち画面が表示された状態で、専用の USB ケーブルを使い本体と PC を接続します	

項番	説明	操作イメージ
5.	USB 接続画面を表示します	
6.	しばらくして MD100Manager の USB アイコンが接続状態に変われば接続は完了です	
7.	**注意事項:** **接続解除するには、必ず MD100Manager を使用し【接続解除】ボタンを押し接続解除後に USB ケーブルを取り外してください** **接続状態で USB ケーブルを取り外すと、本体に保存しているデータが壊れることがあるため絶対に行わないでください**	

5.2　PC から接続解除する

本体を PC（MD100Manager）から接続解除する方法について、次に記載します。

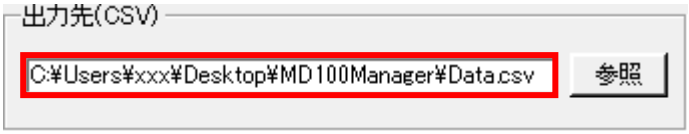
項番	説明	操作イメージ
1.	本体が接続した状態の MD100Manager で【接続解除】ボタンを押します	
2.	しばらくして接続解除画面が表示されれば接続解除は完了です USB ケーブルを取り外してください 【OK】ボタンを押すと接続解除画面を閉じます	

6　各種操作

各種機能毎タブで行う操作について、次に記載します。

6.1　本体に保存している読み取りデータをパソコンに出力する

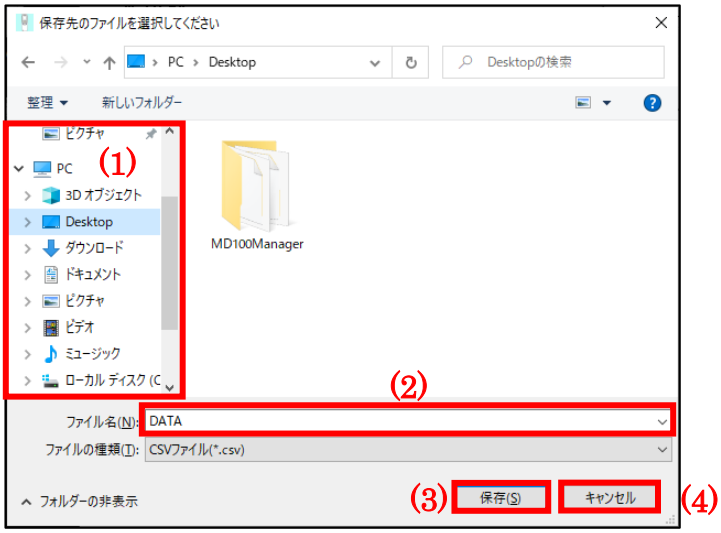
【読取データ出力】タブにおける画面各部について、次に説明します

<table>
<tr><th>項番</th><th>各部名称</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>①</td><td>出力先ファイル</td><td>


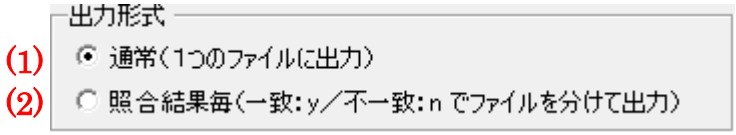
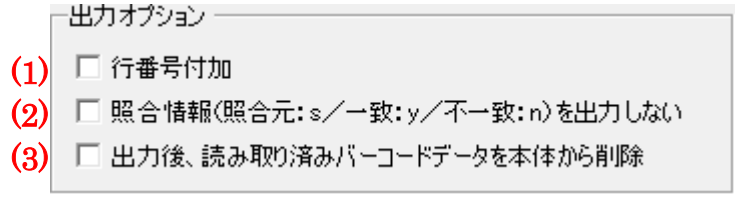
読み取りデータ出力先ファイルを指定します
※本欄に手入力で指定することも可能ですが、右隣の【参照】ボタンを使用すると簡単に指定することができます

実際に出力するファイル名称は、ここで指定したファイル名称にファイル出力日を付加したものになります（同じ日に複数回ファイル出力すると、ファイル名称の最後の数字を増加し区別します）

ファイル名に「Data」を指定し 2020/04/01 にファイル出力した場合：
Data20200401_0.csv
更に同じ日 2020/04/01 にファイル出力した場合：
Data20200401_1.csv
</td></tr>
<tr><td>②</td><td>参照</td><td>

このボタンを押すと表示される保存先ファイルの選択ダイアログで出力先ファイルを指定することができます


(1) 出力先のフォルダを指定します
(2) 出力するファイル名称を指定します
(3) 【保存】ボタンを押すと指定したフォルダとファイル名称を出力先ファイルとして確定します
(4) 【キャンセル】ボタンを押すと出力先ファイル指定を中止します
</td></tr>
</table>

項番	各部名称	説明
③	出力形式	 ファイル出力時の形式を指定します (1) 通常 読み取りデータを1つのファイルに出力します (2) 照合結果毎 照合結果(一致/不一致)別に2つのファイルに分けてファイルを出力します(※モード選択で 照合モード (照合モード)選択時に指定可能です) ・一致のファイル名称例: Data20200401_0.csv ・不一致のファイル名称例: Data20200401_0_NoData.csv
④	出力オプション	 ファイル出力時のオプションを指定します (1) 行番号付加 読み取りデータの先頭に行番号(1～)を付加して出力します (2) 照合情報を出力しない 照合情報(:s/:y/:n)の出力を行いません (※モード選択で 照合モード (照合モード)選択時に指定可能です) (3) 出力後、読み取り済みバーコードデータを本体から削除 出力後に出力元となった本体保存データを削除します ※二重読み取り禁止判定用データも削除します
⑤	出力	 本体に保存しているデータを指定したオプションで PC にファイル出力します

6.2　本体の設定を行う（1）

【本体設定】タブにおける画面各部について、次に説明します

<table>
<tr><th>項番</th><th>各部名称</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>①</td><td>確認送信</td><td>確認送信
○ 有効　◉ 無効

バーコード読み取り後に本確認を行うかどうかを指定します

<table>
<tr><th>値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>有効</td><td>確認送信を有効にします</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>確認送信を無効にします</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>②</td><td>日付付加</td><td>日付付加
○ 有効　◉ 無効

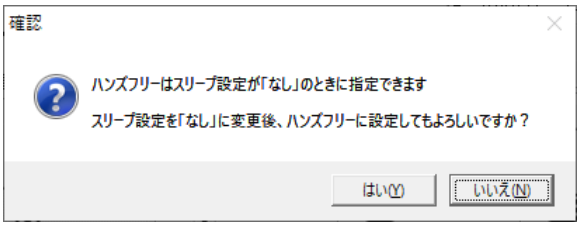
バーコードデータ保存時に日付を付加するか指定します

<table>
<tr><th>値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>有効</td><td>日付を付加します</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>日付を付加しません</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>③</td><td>時刻付加</td><td>時刻付加
○ 有効　◉ 無効

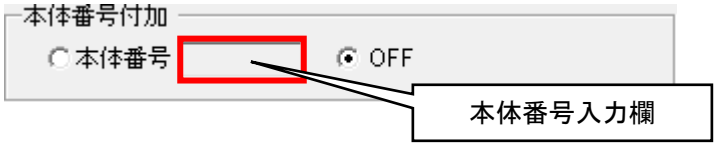
バーコードデータ保存時に時刻を付加するか指定します

<table>
<tr><th>値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>有効</td><td>時刻を付加します</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>時刻を付加しません</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項番</th><th>各部名称</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>④</td><td>スキャン方法</td><td>

バーコードスキャン時の方法を指定します
<table>
<tr><th>値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>トリガー</td><td>スキャンボタンを押している間照射します</td></tr>
<tr><td>グッドリード</td><td>スキャンボタンを押すと一定時間照射します</td></tr>
<tr><td>オートスキャン</td><td>連続照射します（スキャンボタンを押す必要はありません）
※2D モデル接続時は選択できません</td></tr>
<tr><td>ハンズフリー</td><td>バーコードをかざすと自動照射します（スキャンボタンを押す必要はありません）
※1D モデル接続時は選択できません
※MD201/MD202 の本体アプリバージョン 3.0.1 以降で選択できます（本体アプリバージョンの確認方法は本体のマニュアルを参照してください）
※スリープ設定が「なし」以外のときに指定すると次の画面を表示します


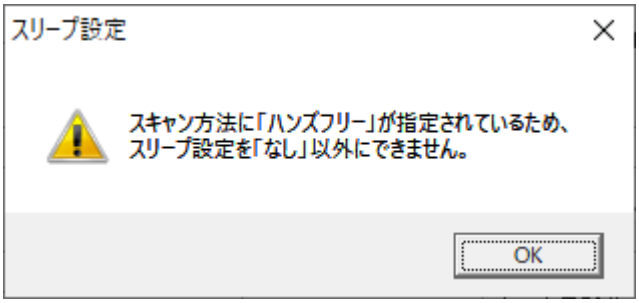
【はい】を押すとスリープ設定を「なし」に変更後、ハンズフリーに設定します
【いいえ】を押すとハンズフリー設定を中止します</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項番</th><th>各部名称</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>⑤</td><td>本体番号付加</td><td>


バーコードデータ保存時に本体番号を付加するか指定します
<table>
<tr><th>値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>本体番号</td><td>本体番号を付加します</td></tr>
<tr><td>本体番号入力欄</td><td>本体番号を入力します
※本体番号には 1～999 の番号を入力できます</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>本体番号を付加しません</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>バックライト点灯時間</td><td>

バックライトの点灯時間を指定します
<table>
<tr><th>値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>10 秒</td><td>未操作状態が 10 秒続くと消灯します</td></tr>
<tr><td>30 秒</td><td>未操作状態が 30 秒続くと消灯します</td></tr>
<tr><td>60 秒</td><td>未操作状態が 60 秒続くと消灯します</td></tr>
<tr><td>常時</td><td>常時点灯します（消灯しません）</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項番</th><th>各部名称</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>⑦</td><td>スリープ設定</td><td>

スリープモードに入るまでの時間を指定します
<table>
<tr><th>値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1 分(*)</td><td>未操作状態が 1 分続くとスリープモードに入ります</td></tr>
<tr><td>5 分(*)</td><td>未操作状態が 5 分続くとスリープモードに入ります</td></tr>
<tr><td>10 分(*)</td><td>未操作状態が 10 分続くとスリープモードに入ります</td></tr>
<tr><td>なし</td><td>スリープモードに入りません</td></tr>
</table>
*スキャン方法が「ハンズフリー」でないときに指定できます
「ハンズフリー」のときに指定すると次の画面を表示します


</td></tr>
<tr><td>⑧</td><td>ビープ音設定</td><td>

ビープ音を設定します
<table>
<tr><th>値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>大</td><td>ビープ音を「大」にします</td></tr>
<tr><td>中</td><td>ビープ音を「中」にします</td></tr>
<tr><td>小</td><td>ビープ音を「小」にします</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>ビープ音を「OFF」にします</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>バイブ設定</td><td>

バイブの使用有無を設定します
<table>
<tr><th>値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>有効</td><td>バイブを使用します</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>バイブを使用しません</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項番</th><th>各部名称</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>⑩</td><td>バーコードを「”」で囲む</td><td>バーコードを「”」で囲む
○ 有効　◉ 無効

バーコードデータを「”」(ダブルクォート)で囲んで保存するかを設定します

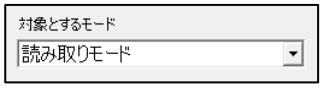
<table><tr><th>値</th><th>内容</th></tr><tr><td>有効</td><td>「”」(ダブルクォート)で囲みます</td></tr><tr><td>無効</td><td>「”」(ダブルクォート)で囲みません</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>⑪</td><td>設定予約</td><td>設定予約

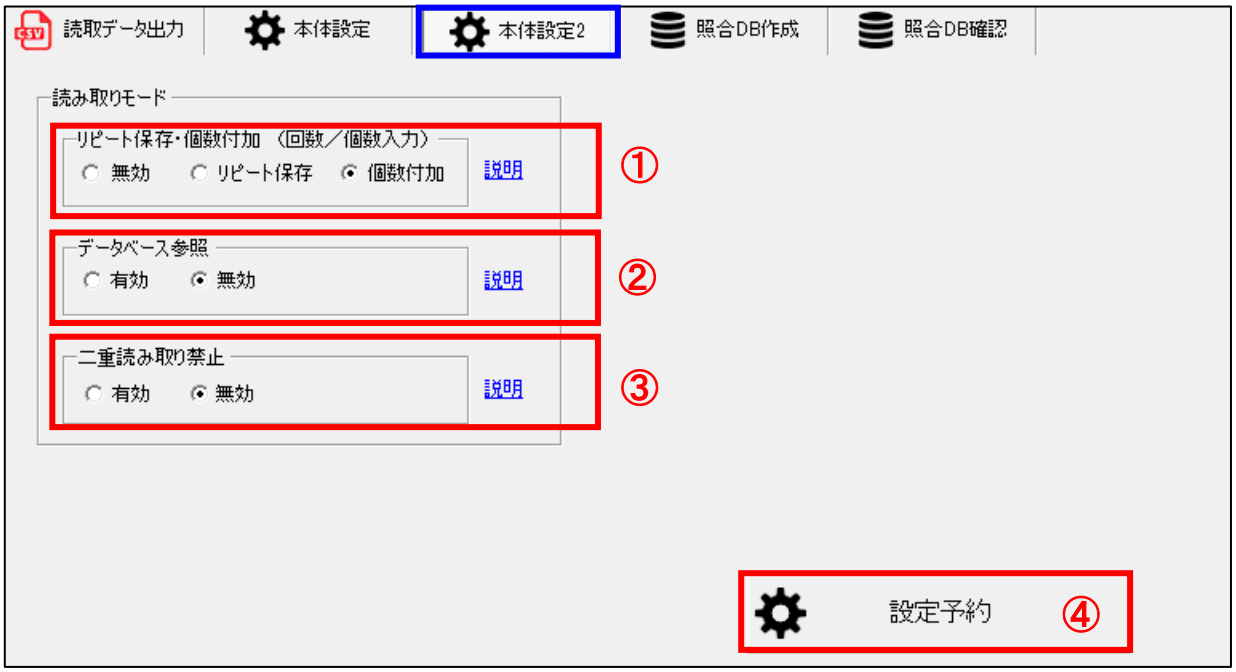
【本体設定】タブの内容を本体に反映するよう予約します
※本体への反映は【接続解除】ボタン 接続解除 を押し接続解除したあとに行います</td></tr>
</table>

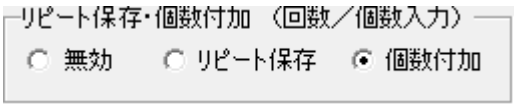
6.3　本体の設定を行う(2)

6.3.1　読み取りモード時

対象とするモードが「読み取りモード」時、【本体設定 2】タブにおける画面各部について、次に説明します

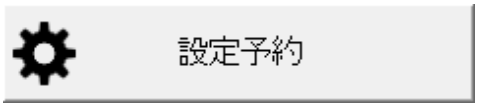


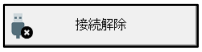


<table>
<tr><th>項番</th><th>各部名称</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>①</td><td>リピート保存・個数付加</td><td>


バーコードデータをリピート保存する回数またはバーコードデータ保存時に個数を付加するか指定します
<table>
<tr><th>値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>無効</td><td>無効です（リピート保存も個数付加も行いません）</td></tr>
<tr><td>リピート保存</td><td>バーコードデータをリピート保存（読み取りデータを指定回数分保存）します</td></tr>
<tr><td>個数付加</td><td>バーコードデータ保存時に個数を付加します</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>②</td><td>データベース参照</td><td>

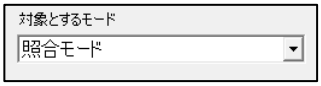
読み取り時におけるデータベース参照の有無を指定します
<table>
<tr><th>値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>有効</td><td>データベースを参照します</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>データベースを参照しません</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>③</td><td>二重読み取り禁止</td><td>

読み取り時における二重読み取り判定の有無を指定します
<table>
<tr><th>値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>有効</td><td>二重読み取り判定を行います</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>二重読み取り判定を行いません</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>④</td><td>設定予約</td><td>


【本体設定 2】タブの内容を本体に反映するよう予約します
※本体への反映は【接続解除】ボタン  を押し接続解除したあとに行います
</td></tr>
</table>

6.3.2　照合モード時

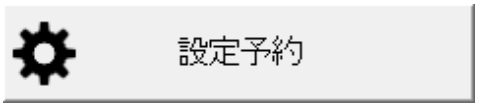
対象とするモードが「照合モード」時、【本体設定 2】タブにおける画面各部について、次に説明します



<table>
<tr><th>項番</th><th>各部名称</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>①</td><td>照合方法</td><td>

照合方法を指定します
<table>
<tr><th>値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1 対 1</td><td>1 対 1 照合を行います</td></tr>
<tr><td>1 対 N</td><td>1 対 N 照合を行います</td></tr>
<tr><td>DB</td><td>DB 照合を行います</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>②</td><td>照合元カラム設定</td><td>

照合元のカラム（照合範囲）を指定します
(1) 開始桁指定方法
開始桁をバーコードの左／右どちらで指定するかを、次の項目から指定します
a) コード左から照合開始桁を指定
b) コード右から照合開始桁を指定
(2) 開始桁
開始桁位置を指定します
※「(1) 開始桁指定方法」で指定した方向（左／右）から数えた開始桁位置を指定します
(3) 照合桁数
「(2) 開始桁」で指定した位置から照合対象とする桁数を指定します
※「0」を指定すると「(2) 開始桁」で指定した位置以降すべてが照合対象となります
(4) 照合範囲イメージサンプル
「A～Z の 26 文字のバーコードだった場合」に、(1)～(3)の指定内容で照合対象となる箇所を黄色でサンプル表示します
</td></tr>
</table>

項番	各部名称	説明
③	照合先カラム設定	 照合先のカラム（照合範囲）を指定します (1) 開始桁指定方法 開始桁をバーコードの左／右どちらで指定するかを、次の項目から指定します a) コード左から照合開始桁を指定 b) コード右から照合開始桁を指定 (2) 開始桁 開始桁位置を指定します ※「(1) 開始桁指定方法」で指定した方向（左／右）から数えた開始桁位置を指定します (3) 照合桁数 「(2) 開始桁」で指定した位置から照合対象とする桁数を指定します ※「0」を指定すると「(2) 開始桁」で指定した位置以降すべてが照合対象となります (4) 照合範囲イメージサンプル 「A～Z の 26 文字のバーコードだった場合」に、(1)～(3)の指定内容で照合対象となる箇所を黄色でサンプル表示します
④	設定予約	 【本体設定 2】タブの内容を本体に反映するよう予約します ※本体への反映は【接続解除】ボタン を押し接続解除したあとに行います

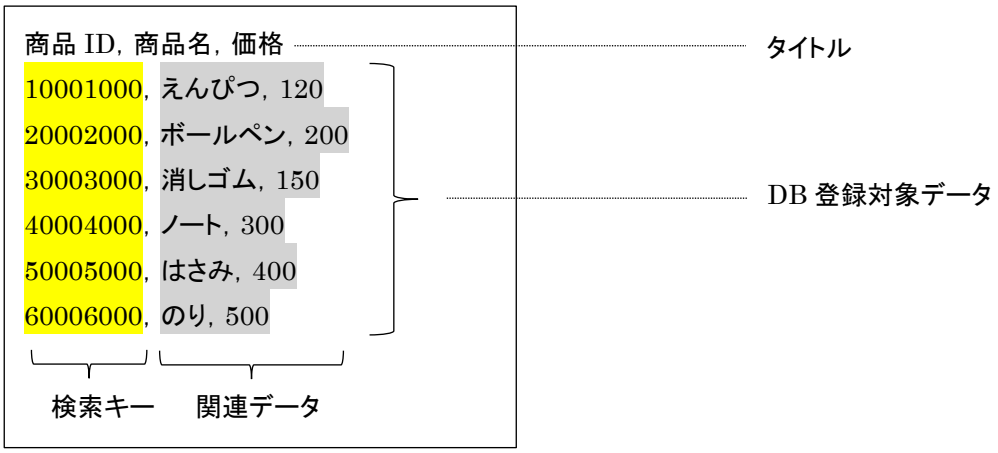
6.4　本体に照合 DB を作成する

6.4.1　照合 DB 作成元ファイル

(1)　ファイル形式

照合 DB 作成元のファイルは、検索キーと関連データを「，」(カンマ)で区切った CSV 形式のテキストファイルです。テキストファイルは Shift-JIS で作成する必要があります。また行端を除き、検索キーおよび関連データ中に改行コード等の制御コードを含んではいけません。

次に作成元ファイルとなる CSV ファイルのサンプルを示します。
このサンプルの先頭にはタイトル行があり、実際のデータは 2 行目以降になります(タイトル行はなくても構いません)。
作成元ファイルの各行は、「商品 ID」、「商品名」、「価格」の 3 種類のデータで構成しています。
ここでは「商品 ID」をバーコードと仮定しているため、検索キーは「商品 ID」になります。



検索キーである「商品 ID」以外の「商品名」と「価格」は、検索キーに関連するデータとみなします。
照合 DB では、ひとつの検索キーに対し、ひとつの関連データを登録できます。
今回のように関連データがふたつ(商品名と価格)ある場合、ふたつのデータを連結し関連データとして登録します。
商品名「えんぴつ」を例にとると、商品 ID「10001000」の関連データは「えんぴつ，120」になります。

(2)　長さ制限

照合 DB に登録可能な最大データ長は次のとおりです。

検索キーの最大は 120 バイトです
関連データの最大は 100 バイトです

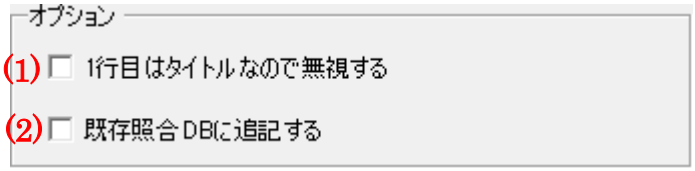
6.4.2　照合 DB を作成する

【照合 DB 作成】タブにおける画面各部について、次に説明します

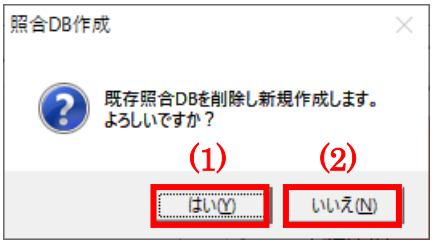
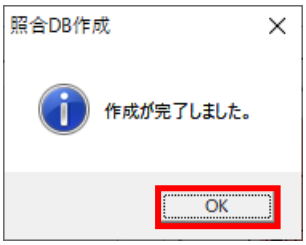
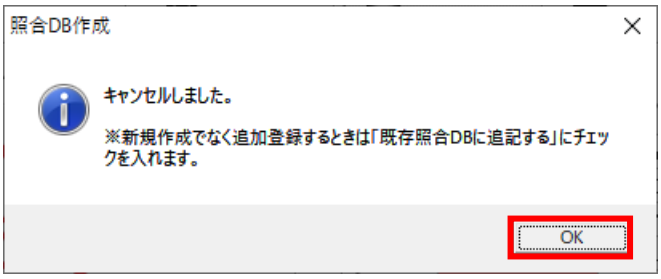
項番	各部名称	説明
①	作成元ファイル	 作成元ファイル(CSV)の入力は、次に示すいずれかの方法で行います (1) 手入力 作成元となるファイルの手入力ができます (2) 参照入力 作成元ファイル選択ダイアログを使用し入力することができます (3) ドロップ入力 エクスプローラーで作成元ファイルを選択し、この領域にドロップすることで入力することができます

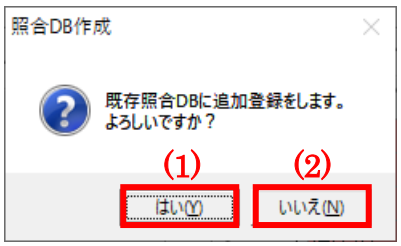
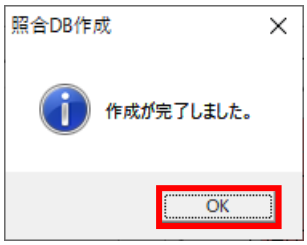
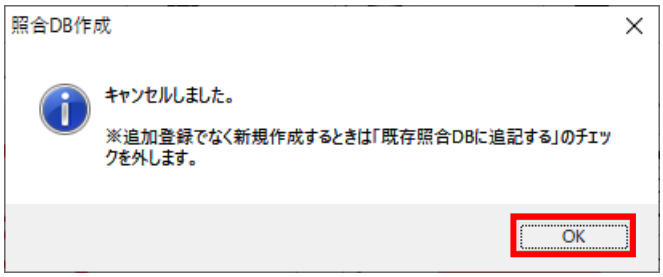
<table>
<tr><th>項番</th><th>各部名称</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>②</td><td>作成元内容</td><td>

作成元内容欄には、作成元ファイルに入力したファイルの内容を表示します
検索キー列の指定は、次のいずれかの方法で行います
※検索キーの列は赤色表示します

(1) 検索キー列番号指定
列番号を手入力するか、右側の▲／▼ボタンを押し番号を増減させ指定することもできます
(2) 作成元内容表示領域から指定
作成元ファイルの内容が表示された列番号をクリックすると、その列が検索キーとなります
</td></tr>
<tr><td>③</td><td>オプション</td><td>


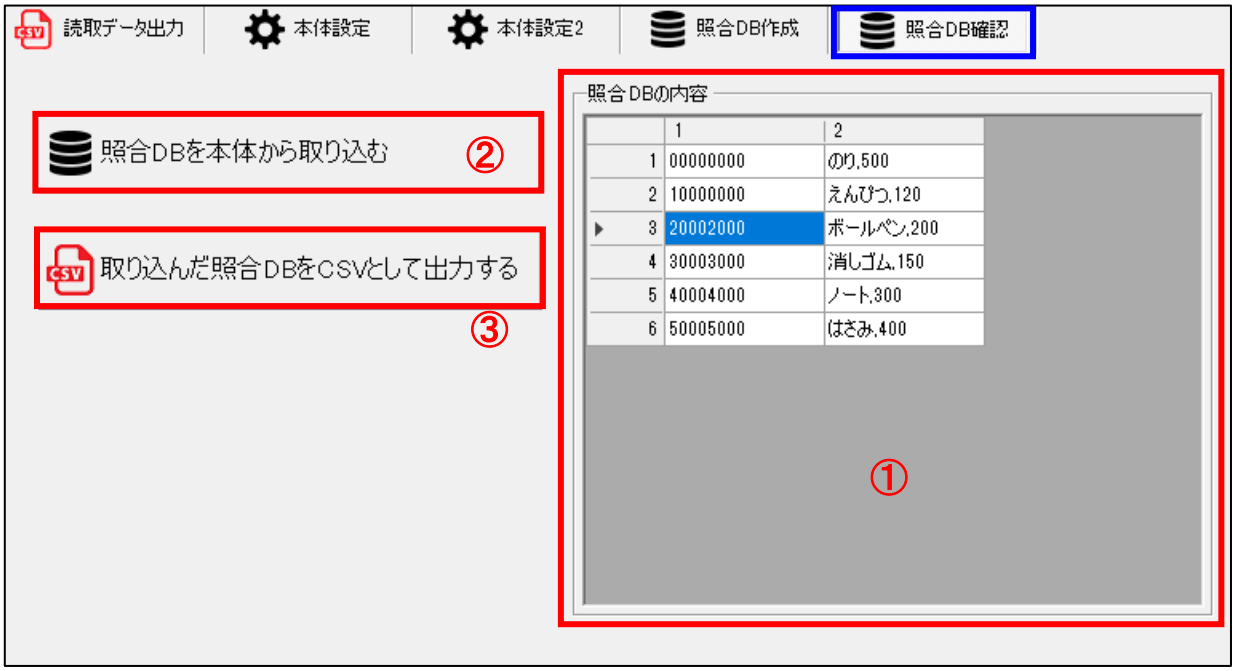
照合 DB 作成時のオプションを指定します
(1) 1 行目はタイトルなので無視する
このオプションをチェック☑すると照合 DB に 1 行目を出力しません
※タイトル行が作成元ファイルに存在するときチェックしてください
(2) 既存照合 DB に追記する
このオプションをチェック☑すると現在本体にある照合 DB に今回指定した作成元ファイルの内容を追加します
このオプションをチェックせずに出力すると、現在本体にある照合 DB を削除し新規に照合 DB を作成後、作成元ファイルの内容を追加します
</td></tr>
</table>

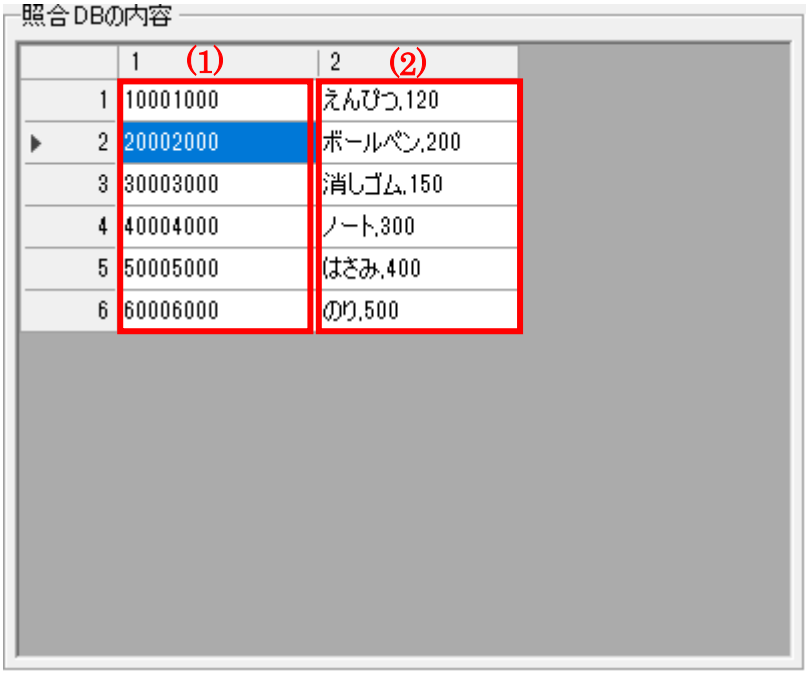
項番	各部名称	説明
④	作成	 作成元の内容を指定したオプションで本体に照合 DB を作成します このボタンを押すと作成確認画面を表示します **<u>a) オプションの「既存照合 DB に追記する」がチェックされていないとき</u>** **<u>※新規作成時</u>**  (1)【はい】ボタンを押すと作成を開始します 作成が完了すると次の画面を表示します 次の画面で【OK】ボタンを押すと画面を閉じます  (2)【いいえ】ボタンを押すと作成をキャンセルし次の画面を表示します 次の画面で【OK】ボタンを押すと画面を閉じます 

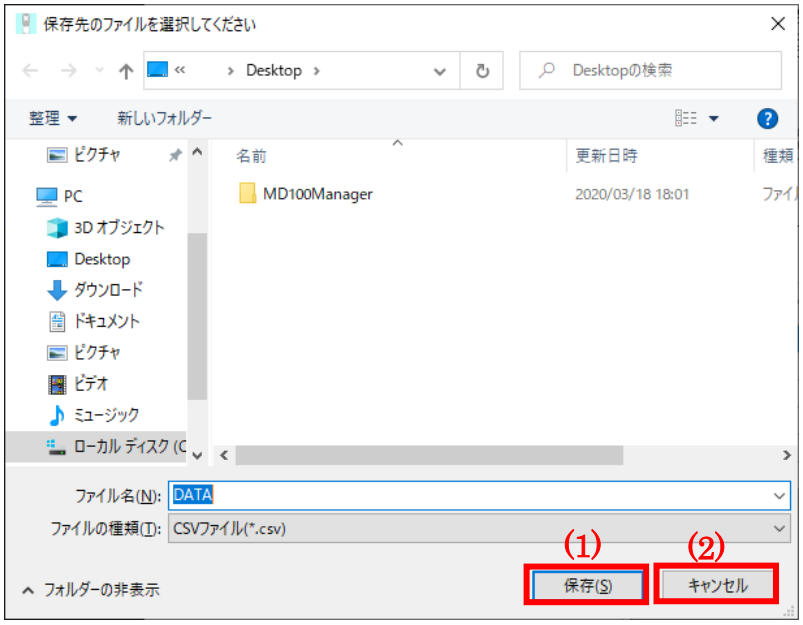
項番	各部名称	説明
		<u>b) オプションの「既存照合 DB に追記する」がチェックされているとき</u> <u>※追加登録時</u>  (1) 【はい】ボタンを押すと作成を開始します 作成が完了すると次の画面を表示します 次の画面で【OK】ボタンを押すと画面を閉じます  (2) 【いいえ】ボタンを押すと作成をキャンセルし次の画面を表示します 次の画面で【OK】ボタンを押すと画面を閉じます 

6.5　本体にある照合 DB の内容を確認する

【照合 DB 確認】タブにおける画面各部について、次に説明します



項番	各部名称	説明
①	照合 DB の内容	 本体に格納している照合 DB の内容を表示します (1) 検索キーを表示します (2) 検索キーに関連するデータを表示します
②	照合 DBを本体から取り込む	 ※このボタンは本体を接続した状態のとき有効になります このボタンを押すと本体に格納している照合 DB の内容を取り込み、照合 DB 欄に表示します

項番	各部名称	説明
③	取り込んだ照合 DB を CSV として出力する	 ※このボタンは照合 DB を本体から取り込んだ状態（照合 DB の内容欄にデータが表示されている状態）のとき有効になります このボタンを押すと保存先を選択する次の画面を表示します  (1)【保存】 ボタンを押すと保存先として指定したフォルダに CSV ファイルを出力します 出力する CSV ファイルの先頭には次の内容のタイトルを付加します "Barcode","Description" (2)【キャンセル】 ボタンを押すと保存を中止します